

まちのわだい

あなたの周りで起きた出来事や楽しい話題、イベントなどの身近な情報をお待ちしています。

▷問い合わせ 広報情報係
(☎223局3569)



いもじ 芦屋釜の里 鋳物師養成員の樋口さんの作品展示

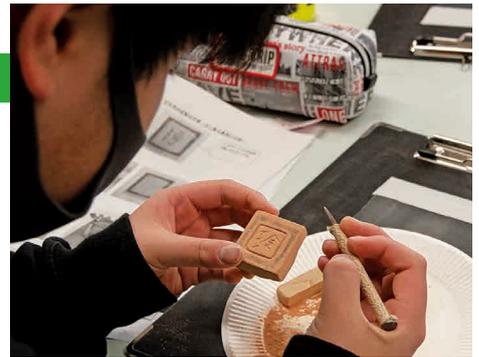
3月2日～4月11日 企画展 樋口陽介 茶の湯釜展～独立までの軌跡～

芦屋釜復興工房で16年間の修業を終え、4月から鋳物師として独立する樋口陽介さん。それを記念する企画展を芦屋釜の里で開催中です。樋口さんは、「16年という濃密な修業の時間をいただいた芦屋町に感謝しています。芦屋釜の復元に取り組んで生み出した作品をはじめ、オリジナルの美術作品も展示しています。芦屋町の皆さんにぜひ見に来てもらいたい」と語っていました。

すず 自分の名前を彫って、錫のオリジナル古印づくり

3月12日 芦屋小学校体験授業

芦屋小学校では、芦屋町ならではの取り組みとして「錫の古印づくり」体験が行われ、6年生が参加しました。講師は芦屋釜の里の樋口陽介さん。児童たちは名前の一文字を土製の鋳型に彫り、持ち手の鋳型をセットして、そこに溶けた錫を流し込みます。「拓」の字を彫った山口拓馬さんは、「自分の名前の印を初めから最後まで自分で作ることができてうれしい。大切に保管して大人になったら使いたい」と話していました。



「すべては子どもたちのために」と、子ども食堂を

3月5日 もあはび食堂オープン

昨年末、一日一食しか食べられない子どもがいることを知った山元彪ノ介さん（白浜町）。何か自分にできることはないかと考えめぐねていたとき、本業の事務所を移転した後を見て「昔、親戚がここで食堂をしていた」ことを思い出し、子ども食堂を作ることを決意。仲間と力を合わせて改装し、多くのボランティアの皆さんの力を集結して子ども食堂を船頭町にオープンさせました。食事は無料で提供され、誰でも利用できるそうですが、初回は登録（アレルギーなどの確認）が必要とのこと。山元さんは、「当面は毎週金曜日のみ運営だが、ボランティアや食材が増えれば運営日も増やしていきたい」と話していました。





中学校卒業おめでとう！

3月12日 芦屋中学校卒業式



新型コロナウイルスの影響で、中学生最後の行事や大会などが中止や縮小になるなか、勉学に励み、学友との親交を深めるなど努力を積み重ねる時を過ごした中学3年生137人が芦屋中学校を卒業しました。誰も経験したことのない1年間を共に過ごした同級生たちとの絆を大切に、それぞれの未来に進んでいってください。



春の息吹を感じながら楽しい^{こけ}苔玉づくり

3月13日 中央公民館講座

盆栽よりも手軽に楽しめる苔玉がブームのなか、中央公民館講座で人気の高い苔玉づくり講座。コロナ対策を行った広い会場で参加者16人が春の植物と触れ合いました。樹木医でもある講師の吉岡学さんは「園芸は一人でもできます。苔が柔らかな印象を与え、リラックスさせてくれる効果もあります」と話します。参加した杉本チエコさん(船頭町)は「できたものを家に飾るのが楽しみ」と話していました。



身近な風景を水彩画や油絵で表現

3月12日～21日 バーミリオン展

芦屋スケッチさんぽ同好会とアトリエKの皆さんが合同でバーミリオン展をギャラリーあしやで開催しました。町の見慣れた身近な風景をスケッチし趣のある水彩画にしたものや人物・静物の油絵など70点が展示されました。鑑賞した中西一美さん(山鹿)は「地元の風景が地元の人の手で絵になり、変わりつつある風景が残るのはいいですね」と話していました。